

令和4年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：看護研究方法論	授業コード：M11002
担当教員氏名	勝野とわ子
開講年度・時期	令和 4 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年
<p>みなさんが、この科目から研究について多くを学んでいることが確認でき嬉しく思っています。残念ながら授業回数を増やすことはできませんが、今後積極的に指導教員等に指導を受けてよい研究、役に立つ研究を大切にし看護科学を発展させていってください。</p>	

授業科目名：統計学特論	授業コード：M11005
担当教員氏名	大井慈郎
開講年度・時期	令和 4 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年
<p>好意적으로ご評価いただきありがとうございます。みなさまが毎授業積極的に受講してくださったおかげで良い授業になったと思います。</p> <p>授業の最後にも申し上げましたが、この授業の内容は、これから繰り返し実践を行うなかで理解が深まるものです。授業の録画など、復習できる教材を共有しておりますので引き続き参考にさせていただき、みなさまの研究活動の助力になれば幸いです。</p> <p>なお、アンケートより、本授業よりももう少し上のレベルについても興味を持って頂けたことがわかり大変うれしく思います。ただ、現在の授業数のままレベルを上げると、基礎の部分を省略する必要があります。ご興味をもった点などありましたら、個別に問い合わせ頂ければ、追加で説明等したいと思います。</p>	

授業科目名：質的研究方法特論	授業コード：M11006
担当教員氏名	相澤出
開講年度・時期	令和 4 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年
<p>本講義は、大学院の授業らしくゼミ形式で、テキストを輪読し、まとめ、報告することに重点を置いている。受講者には少なからぬ課題をこなしてもらっているが、受講者の方々はよくそれをこなし、積極的に受講されていた。授業評価については、シラバスに書かれていたものとは異なるテキストを新たに取り入れるなどしたため、結果的にシラバスの内容と異なる点がいささか生じたところがあり、評価にそのことが反映されているように思われた。よりよい講義をめざすことではあるが、受講者側としては受講前の想定と異なるところが出てきたことで、とまどわれたところもあるかと思われ、講義担当者としては反省すべきところであった。加えて今年度の前期、講義担当者がかなり業務繁多であったことから疲労と混乱があり、講義の進行等でうっかりミスをするなど反省すべきところがあった。これらの点の改善に努める所存である。</p>	

授業科目名：基礎看護学特論 1	授業コード：M21001
担当教員氏名	長谷川幹子
開講年度・時期	令和 4 年度 <u>前期</u> ・ 後期 ・ 通年
<p>良い評価をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今後も、みなさまの研究成果の向上につながる効果的な授業ができるよう努めていきます。</p>	

授業科目名：基礎看護学演習 I	授業コード：M21003
担当教員氏名	長谷川幹子、石井真紀子
開講年度・時期	令和 4 年度 <u>前期</u> ・ 後期 ・ 通年
<p>受講生の自己評価から、積極的に授業へ参加くださっていたことがわかりました。</p> <p>今後も、社会人であっても受講しやすい工夫や職務に必要な知識の修得を目指した授業内容や方法を検討していきたいと思えます。</p>	

授業科目名：地域看護学特論 I	授業コード：M21005
担当教員氏名	鈴木るり子
開講年度・時期	令和 4 年度 <u>前期</u> ・ 後期 ・ 通年
<p>地域看護学特論 I の講義では、国内外の在宅看護の実際と制度設計についてディスカッションした。特に、国内の在宅療養者の事例として、ALS 患者を取り上げた。人工呼吸器装着者の在宅療養の喀痰吸引・経管栄養注入は、家族に認められていたため、家族の医療的介護負担は過酷であり、特に、会資源不足の地域の在宅療養は不可能とされていた。2011 年「社会福祉士法及び介護福祉士法」の一部が改正されたことによる「第三号研修（特定の者対象）のための喀痰吸引・経管栄養注入の研修による制度が導入され、在宅療養者の家族介護者の医療的介護負担を軽減することになった。家族会を中心とした活動によって法制化された実態に触れ、地域看護活動方法論について考察を深めたと考えている。</p>	

授業科目名：地域看護学演習 I	授業コード：M21007
担当教員氏名	鈴木るり子
開講年度・時期	令和 4 年度 <u>前期</u> ・ 後期 ・ 通年
<p>地域看護学演習 I では、自己の研究課題について、看護研究論文をクリティークしながら積極的に受講していた。</p> <p>特に、入学時の研究テーマについて、メンバーとディスカッションしながら、自己の研究テーマに関連する先行研究についてのレビュー、発表をしていた。</p> <p>また、講義計画と照らし合わせながら、自己の研究計画書作成に取り組んでいた。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅰ	授業コード：M41001
担当教員氏名	伊藤 収
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>高い評価をいただいた。よって、授業の内容については、改善する必要性はないと考えるが、前年度が3名の履修者であったのに、今年度が1名となったため、看護管理学の一般論に基づく内容と、履修生からの希望による個別な課題に答える内容が混在する形の授業となり、各コマでの結論を統合する上で苦慮した。そういう状況であったので、高い評価を得たことで「結論」の結び方に無理がなかったことが確認でき、ほっとしている。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅱ	授業コード：M41002
担当教員氏名	伊藤 収
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>高い評価をいただいた。よって、授業の内容については、改善する必要性はないと考える。しかし、前年度が2名の履修者であったのに、今年度が1名となったことにより、並行して行っている看護管理学特論Ⅰと同様に、看護管理学の一般論に基づく内容と、履修生からの希望による個別な課題に答える内容が混在する形の授業となり、各コマでの結論を統合する上で苦慮した。</p> <p>そういう状況であったので、高い評価を得たことで「結論」の結び方に無理がなかったことが確認でき、ほっとしている。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅲ	授業コード：M41003
担当教員氏名	伊藤 収
開講年度・時期	令和 4 年度 前期 ・ 後期 ・ 通年
<p>高い評価をいただいた。</p> <p>今年度の履修者が1名となったため、先行して行った看護管理学特論Ⅰ・Ⅱの授業経過をふまえて、当初の授業予定に「履修生の現状をふまえた個別な課題（例：実際の管理病棟の状況など）」をより活かす形の授業に一部変更を加えた。そのことが、高い評価につながったと考えている。</p>	

2022 年度授業評価アンケート

【科目名：大学で入力】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

No.	質問内容	全くそう思わない	強くそう思う
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2 3 4 5
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2 3 4 5
10	プレゼンテーション（担当課題）の事前準備は適切でしたか。	1	2 3 4 5
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2 3 4 5
12	授業に参加する態度（質問や発言）は適切でしたか。	1	2 3 4 5
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2 3 4 5
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2 3 4 5
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。		

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

大学院授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：
担当教員氏名	
開講年度・時期	令和 4 年度 <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等 (この部分は HP で公開。)	
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等	

※令和4年10月14日(金)を目途にご返送願います。